

トゥレット症候群（重度チック）について

病 名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
<p>トゥレット症候群 (重度チック)</p>	<p>◇症状</p> <p>トゥレット症候群は、繰り返す素早い動き（運動チック）と音や声（音声チック）とを主な症状とする。小児期に発症し、慢性的に経過する神経の病気である。</p> <p>運動チックには、まばたき、顔しかめ、首振り、肩すくめ、腕振り、体のねじり、ジャンプ、人や物に触るといった多彩な動きがある。</p> <p>音声チックには、咳払い、鼻すすり、叫び声、卑猥な言葉や不謹慎な言葉、自分や他人が言った言葉を繰り返してしまう、といった症状がある。</p> <p>強迫性障害（OCD）、注意欠陥多動障害（ADHD）、学習障害（LD）、睡眠障害、気分障害などの併発症が高率で見られる。</p> <p>◇治療</p> <p>チックを抑制するために抗精神病薬が使用される。ハロペリドールはもっとも一般的な抗精神病薬で有効な薬だが、口と舌の反復性の不随意運動、硬直、体重増加、視力障害、眠気、思考力低下などの副作用が見られる。ピモジド、フルフェナジン、リスペリドンなどの抗精神病薬もチックの回数を減らし、症状を軽減する。これらは副作用がより少ない薬である。</p> <p>加えて、特に小児の場合は、ストレス因子の除去、疾患から生じる二次的な劣等感の除去・予防、症状から生じる周囲の偏見や学校でのいじめなどの予防が重要である。</p> <p>（NPO法人日本トゥレット協会HP及び万有製薬株式会社メルクマニユアル（医学書）家庭版より）</p>	<p>NPO法人日本トゥレット協会 http://www.tourette</p>